

巻頭特集 世界と共創し、国益を守る ー世界のパートナーとの連携ー

第10回 太平洋・島サミット	004
アフリカ開発会議 (TICAD) 閣僚会合	008
第8回 日・カリコム外相会合	011

第1章 国際情勢認識と日本外交の展望

1 情勢認識	014
2 日本外交の展望	017

第2章 地域別に見た外交

第1節 法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」の推進	024
1 総論	024
2 新プランの下での具体的な取組例	025
3 各国との連携・協力	026
第2節 アジア・大洋州	030
1 概観	030
2 中国・モンゴルなど	034
3 朝鮮半島	048
4 東南アジア	061
特集 日米比協力と今後の可能性 ー自由で開かれたインド太平洋を目指してー	067
コラム 日・ブルネイ外交関係開設 40 周年を迎えて ー戦略的パートナーシップが見据える未来ー	068
5 南アジア	069
6 大洋州	072
コラム 日・パラオ外交関係樹立 30 周年	079
7 地域協力・地域間協力	080
第3節 北米	087
1 概観	087
2 米国	088
コラム パレードの街ニューヨークの新たな伝統 ージャパン・パレードー	098
コラム マウイ島火災支援	099
3 カナダ	100

第4節 中南米	104
1 概観	104
2 地域機構	105
コラム 日・カリブ交流年2024	107
3 中南米各国	108
コラム 中南米イヤーにおいて日本と中南米が示した「道のり」という通奏低音	111
コラム 友好の絆 ー日・ボリビア外交関係樹立110周年及び日本人のボリビア移住125周年ー	115
第5節 欧州	116
1 概観	116
2 欧州地域情勢	117
コラム 変貌するEUと日・EU安全保障パートナーシップの推進	126
コラム 欧州の中心に位置する日本のパートナー ー日本とアルザスの交流160年の歩みとこれからー	127
3 地域機関などとの協力	128
コラム ルーマニアにおける日本のウクライナ避難民支援 ー日本大使館は支援の架け橋ー	131
コラム 天皇后陛下の英国御訪問	137
コラム 日・ギリシャ外交関係樹立125周年 ー「海」でつながる戦略的パートナーー	138
第6節 ロシア・ベラルーシと中央アジア・コーカサス	139
1 概観	139
2 ロシア・ベラルーシ	140
3 中央アジア・コーカサス諸国	144
第7節 中東と北アフリカ	148
1 概観	148
2 中東地域情勢	149
コラム 日・トルコ外交関係樹立100周年	159
3 北アフリカ地域情勢(エジプト、リビア、チュニジア、アルジェリア、モロッコ)	160
コラム 日本とアラブ連盟の協力	163
第8節 アフリカ	165
1 概観	165
2 アフリカ連合(AU)	166
3 東部アフリカ地域	167
4 南部アフリカ地域	170
コラム 日・ザンビア外交関係樹立60周年	172
5 中部アフリカ地域	173
6 西部アフリカ地域	175

第3章 国益と世界全体の利益を増進する外交

第1節 日本と国際社会の平和と安定に向けた取組	180
1 安全保障に関する取組	180
2 日米安全保障 (安保) 体制	181
コラム 日米の未来に種を蒔く ―英語を通じた日米交流事業 (SEED/TOFU)―	186
3 グローバルな安全保障	188
地域安全保障 (p.188)、経済安全保障 (p.191)、サイバー (p.195)、 国際的な海洋秩序の維持・発展 (p.196)、宇宙 (p.201)、平和維持・平和構築 (p.204)、 治安上の脅威に対する取組 (p.207)	
特集 現代の海賊対策と日本の貢献	202
コラム 日本の資金援助を通じたギニアビサウでの平和維持活動	208
4 軍縮・不拡散・原子力の平和的利用	211
特集 核軍縮・不拡散に関する安保理閣僚級会合の開催と 「核兵器用核分裂性物質生産禁止条約 (FMCT) フレンズ」の立ち上げ	217
5 国際連合 (国連) における取組	226
特集 国連安保理北朝鮮制裁委員会専門家パネルが果たしてきた役割	229
6 国際社会における法の支配	233
特集 パレスチナ占領地に関する国際司法裁判所 (ICJ) 勧告的意見手続における 口頭陳述への出席	234
7 人権	238
8 ジェンダー平等・女性のエンパワーメント	240
第2節 日本の国際協力 (開発協力と地球規模課題への取組)	244
1 開発協力	244
開発協力大綱と日本のODA実績 (p.244)、2024年の開発協力 (p.245)、主な地域への取組 (p.247)、 適正かつ効果的なODA実施のための取組 (p.253)	
特集 国際協力70周年と新しいODA	254
2 地球規模課題への取組	255
持続可能な開発のための2030アジェンダ (p.255)、国際保健 (p.258)、労働・雇用 (p.259)、 環境・気候変動 (p.259)、北極・南極 (p.264)	
3 科学技術外交	265

第3節 経済外交	267
1 経済外交の概観	267
2 自由で公正な経済秩序を広げるための取組	268
経済連携の推進 (p.268)、国際機関における取組 (p.274)、知的財産の保護 (p.276)	
コラム 国際会議と二国間会談－OECD閣僚理事会の裏側で－	277
3 国際会議における議論の主導	278
G7 (p.278)、G20 (p.280)、アジア太平洋経済協力 (APEC) (p.281)	
4 日本企業の海外展開支援 (日本の農林水産物・日本産食品の輸出促進を含む。)	282
外務本省・在外公館が一体となった日本企業の海外展開の推進 (p.282)、	
インフラシステムの海外展開の推進 (p.282)、	
日本の農林水産物・食品の輸出促進 (東日本大震災後の日本産食品に対する輸入規制撤廃) (p.283)	
特集 経済広域担当官の指名	284
5 資源外交と対日直接投資の促進	285
エネルギー・鉱物資源の安定的かつ安価な供給の確保 (p.285)、食料安全保障の確保 (p.288)、	
漁業 (マグロ・捕鯨など) (p.289)、対日直接投資 (p.290)、	
2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)、2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027) 開催に	
向けた取組 (p.290)	
特集 対日直接投資推進に向けたFDIタスクフォースの設置	292
第4節 日本への理解と信頼の促進に向けた取組	293
1 戦略的な対外発信	293
偽情報対策を含む情報戦への対応 (p.293)、戦略的対外発信の取組 (p.293)、	
ジャパン・ハウス (p.295)、諸外国における日本についての論調と海外メディアへの発信 (p.295)、	
インターネットを通じた情報発信 (p.296)	
2 文化・スポーツ・観光	296
概要 (p.296)、文化事業 (p.297)、人物交流や教育・スポーツ分野での交流 (p.299)、	
知的分野の交流 (p.302)、日本語普及 (p.304)、文化無償資金協力 (p.304)、	
国連教育科学文化機関 (UNESCO: ユネスコ) を通じた協力 (p.304)	
コラム スポーツ外交推進事業による国際交流	301
コラム アジアの共鳴を、未来の息吹に	
－「次世代共創パートナーシップ－文化のWA2.0－」の開始－	305

第4章 国民と共にある外交

第1節 世界とのつながりを深める日本社会と日本人	310
1 日本の成長と外国人材の受入れ	310
2 国際社会で活躍する日本人	311
コラム JPO 派遣開始 50 周年	312
特集 NGO 成長の縁の下での力持ち：NGO 相談員制度 25 周年	316
コラム ソロモン諸島の教壇に立ってみて私が感じたこと	317
コラム 50 年を超えてつながるマラウイと JICA 海外協力隊の強い絆 ^{きずな}	318
3 地方自治体などとの連携	319
第2節 海外における日本人への支援	323
1 海外における危険と日本人の安全	323
2 領事サービスと日本人の生活・活動支援	326
3 海外移住者や日系人との協力	329
4 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約（ハーグ条約）の実施状況	330
コラム NO 準備, NO 海外 - 海外で身を守るために -	331
コラム 旅券（パスポート）の偽変造対策と利便性向上 - 新しいパスポートと、一つ先の未来へ -	332
第3節 国民の支持を得て進める外交	333
1 国民への積極的な情報発信	333
コラム 「学生と語る」 - 外交政策をコースと議論 -	336
コラム 外交の歩みを追体験 - 麻布台ヒルズでの外交史料館の挑戦と展望 -	338
2 外交実施体制の強化	339
3 外交におけるシンクタンク・有識者などの役割	342
コラム 公邸料理人 - 外交の最前線の担い手として -	343
コラム 外交拠点・大使館施設管理の動と静 - 施設の大規模改修と維持管理 -	345

資料編

慰安婦問題 参考資料	348
旧朝鮮半島出身労働者問題 参考資料	350
国際機関などに対する抛出実績 令和5年度外務省抛出実績	352
グローバルな課題の解決に向けて ―国際機関で働くという選択肢―	354
外務省における採用情報	356
地方創生支援事業一覧	358
国際社会及び日本の主な動き	360
要人往来	369
用語索引	398